



ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区

Governor Today

ガバナートゥデイ

ガバナーズローガン 支え合おう



ご挨拶

2025～2026年度 332-C地区ガバナー

齋藤 孝一 (多賀城LC)

寒さの中にも、少しずつ春の兆しを感じられる季節となりました。日頃より、332-C地区の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

年を越してからの332-C地区内では、各クラブの歩みを振り返りや節目を祝うチャーターナイトが続いております。石巻アゼリアクラブ支部10周年、蔵王ライオンズクラブ45周年、仙台シティライオンズクラブ35周年、東松島ライオンズクラブは60周年記念となるそうです。あらためて先人の尽力と歴史の重みを感じる機会となることでしょうか。長きにわたり地域に根ざした奉仕を積み重ねてこられたことは、332-C地区の誇りであり、次代へと確実につないでいくべき大切な財産であると言えます。

一方で、今期の重要テーマであるミッション1.5は、いよいよ最終段階に入っています。各クラブにおいて、会員拡大に向けた工夫や声かけが重ねられてきたことに、確かな手応えを感じております。3月には、GMT委員会主催による会員増強セミナーが

Message

予定されており、これからのクラブ運営を考える上で、大変意義深い機会となることでしょうか。今一度、会員増強を「数」だけでなく、「未来への投資」として捉え、地区全体で会員増強への意識を共有してまいります。

また、地区年次大会に向けた準備も着実に進んでおり、関係者による会議が重ねられています。今期の活動を総括し、次期へとバトンを渡す重要な節目として、実りある大会となるよう、引き続き力を尽くしてまいります。

残された任期も、皆様と共に歩みを進め、誇りある332-C地区の未来を築いてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



第3回 キャビネット会議

2026年2月6日(金)/メゾンドリア・フィュー

2026年2月6日(金)13:45よりメゾンドリア・フィューにおいて、第3回キャビネット会議を開催いたしました。斎藤孝一地区ガバナーをはじめとしてZC、各委員会から多数のメンバーが参加いたしました。

ガバナーのご挨拶の後、アイバンク、腎バンク、骨髄バンクの各団体へ、それぞれ寄付金が贈られました。こ

ちらは合同アクティビティ基金からの基本の40万円に加えて、協賛広告等で集められた指定献金を加えた金額が贈呈されています。

皆様の暖かい支援に心より感謝を申し上げます。

今回の議題は、以下の通りです。

- 第1号議案 2025年7月1日～2025年12月31日における各会計中間報告について
- 第2号議案 上記会計報告に関する監査報告について
- 第3号議案 第72回地区年次大会会則(案)について
- 第4号議案 第72回地区年次大会議事規則(案)について
- 第5号議案 第72回地区年次大会代議員会議事運営要項(案)について
- 第6号議案 第72回地区年次大会代議員会議事運営構成表(案)について
- 第7号議案 次期ガバナー候補者経歴書について
- 第8号議案 次期第1副地区ガバナー候補者経歴書について
- 第9号議案 次期第2副地区ガバナー立候補に関する報告

第9号議案を除いて、提案通り可決または承認されました。第9号議案の次期第2副地区ガバナー立候補については、趣旨了承の上、引き続き推薦をお願いします

ることとなっています。

会議終了後、懇親会も行われ、和やかな雰囲気の中、一切の終了となりました。



蔵王LC 結成45周年記念例会

2026年2月7日(土)/ベネシアンホテル白石蔵王

蔵王ライオンズクラブ CN45周年記念例会を令和8年2月7日(土) 13:30より、ベネシアンホテル白石蔵王にて、盛大に開催いたしました。

当日は、鹿島クラブ会長のゴングにより開幕。332-C地区内外より多数のご来賓や友好クラブの皆様をお迎えし、45年の歩みを振り返るとともに、次なる奉仕の節目を共有する、和やかで心温まるひとときと

なりました。

式典ではちょうど1年前にご逝去されました佐藤義則元ガバナーの追悼ビデオを流し、皆さん涙しました。また祝宴では、蔵王町観光大使のシンガーソングライター幹さんの歌で大変盛り上がりしました。

心のこもった記念例会でしたと皆さんからお褒めの言葉を頂き大盛會に終わることが出来ました。



第3R第1Z 新年合同例会・懇親会

2026年2月13日(金)/ホテルキャッスルプラザ多賀城

2026年2月13日(金)、ホテルキャッスルプラザ多賀城において、ライオンズクラブ国際協会332-C地区第3Rによる合同例会が開催されました。

3Rは、塩釜ライオンズクラブ、大和エコーライオンズクラブ、多賀城ライオンズクラブ、七ヶ浜ライオンズクラブ、塩釜中央ライオンズクラブ、仙台高砂ライオンズクラブ、仙台いわきりライオンズクラブ、富谷ライオンズクラブ、仙台ニューポートライオンズクラブの9クラブで構成されており、日頃から活発な交流と連携を重ねているリジョンです。

当日は、そうした既存9クラブに加え、多賀城LCお

よび塩釜LCをスポンサーとして新たに誕生した「利府松島LC」と、塩釜中央LCスポンサーの「学校法人MSインターナショナルスクールPHILIA^{フィリア}レオクラブ」も紹介され、会場は新しい仲間を迎える温かな雰囲気になりました。各クラブ会長が登壇し、それぞれの紹介とともに、今後の活動への抱負が語られ、参加者から大きな拍手が送られました。

この合同例会は、クラブ・世代を越えたつながりを再確認するとともに、3R全体としての結束力を一層高める貴重な機会となりました。今後の合同アクティビティや奉仕活動へのさらなる広がりが期待されています。



事業報告 ①

眼鏡リサイクル事業「カンボジアでの配布状況報告」

2026年1月16日(金)/カンボジア王国

2026年1月16日、カンボジア国内三か所において、眼鏡の配布が実施されました。配布内容は、カンボジア日本友好学園へ15箱、バンティチャクレイ地区へ10箱、ベンドール地区へ10箱、合計35箱となります。

配布された眼鏡は、視力に不安を抱える多くの方々の生活を支えるものとして、現地で役立てられているとの報告を受けております。本事業は、カンボジア王国首相特別補佐官である田井進様のご尽力のもと、サムデック・テチョ青年ボランティア医師協会(Samdech Techo Youth Volunteer Medical Association: TYDA)が主導し、地方部を含めた各地域へと届けられました。なお、TYDAはカンボジア王国首相夫人ペイ・チャンモニー閣下が会長を務める団体で、医療・

福祉分野を中心に幅広い支援活動を行っています。

現地から寄せられた写真には制服を着用した関係者の姿も確認されており、政府関係者が関与する公的な枠組みの中で、必要とされる人々へ確実に届けられている様子がうかがえます。ライオンズクラブの眼鏡リサイクル事業が、国境を越え、信頼ある現地組織との連携により継続的な支援として機能していることは、非常に意義深い取り組みであります。

今後も引き続き、視力支援を通じた社会貢献活動を継続し、より多くの人々の生活の質向上に寄与してまいりますと考えております。関係各位のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

眼鏡リサイクルセンター運営委員会 副委員長 山口 克宏 (仙台こだま支部)



バンティチャクレイ地区 10箱



ベンドール地区 10箱

友好学園 15箱



事業報告 ②

協力会社「HOYA株式会社」様から報告が届きました

ライオンズクラブ国際協会332-C地区眼鏡リサイクルセンター運営委員会では、連携協定を結ぶHOYA株式会社より、2025年度「アイ・ラブ・エコプロジェクト」の活動報告書が届きました。本事業は2025年9月から11月にかけて全国で実施され、全国460店舗が参加し、167店舗から4,446本の眼鏡が回収されました。仙台営業所を含む全国各拠点や事業所も協力し、多くの善意が形となりました。なお、次年度も本プロジェクトは継続予定であり、眼鏡リサイクルを通じた社会貢献活動が引き続き展開されます。地区としても関係各所と連携し、継続的な支援に努めてまいります。

2025年度 実施結果

○ 実施期間	2025年9月1日～11月30日
○ エントリー店	全国460店舗
○ 回収した店舗数	167店舗
○ 回収本数	4,446本(眼鏡店4,378本、HOYA事業所68本) ※弊社HPでは国内別拠点への送付分も含めた数を記載しております。
○ HOYA参加拠点	<input type="checkbox"/> HOYA(株) 北海道営業所 <input type="checkbox"/> HOYA(株) 大阪営業所 <input type="checkbox"/> HOYA(株) 仙台営業所 <input type="checkbox"/> HOYA(株) 岡山営業所 <input type="checkbox"/> HOYA(株) 東京営業所 <input type="checkbox"/> HOYA(株) 九州営業所 <input type="checkbox"/> HOYA(株) 名古屋営業所 <input type="checkbox"/> その他、松島工場、メディカル部門など他事業部も参加

2026年1月 マンスリーレポート集計表

会員増強状況

	期首	前月末	入 会		退 会		今月末	比 較	
			当月	累計	当月	累計		当月	期首
クラブ数	55	55	0	0	0	0	55	0	0
会員数	1,454	1,441	13	46	1	47	1,453	-1	12

アクティビティ活動報告

項 目	件 数	実 績
金額アクティビティ	32件	1,921,686円
労力アクティビティ	18件	141.0H
献血アクティビティ	1件	動員数 0人 27,600cc
使用済み切手		0枚
献眼登録アクティビティ		0人
献眼アクティビティ		0人
献腎登録アクティビティ		0人
献腎アクティビティ		0人

リジョン別会員数

R	Z数	クラブ数	平均出席率 %	R	1 Z	2 Z
				会員数	会員数	会員数
1	2	14	56.4	437	267	170
2	2	11	48.3	209	129	80
3	1	10	77.8	218	218	
4	2	13	37.6	427	210	217
5	1	8	52.8	162	162	
計	8	56	54.6	1,453	986	467

ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区 会員の皆様へ

アクティビティレポート記事募集のお願い

地区情報誌「アクティビティレポート」では、会員の皆様からの寄稿を募集しております。今回は、各クラブで行われているアクティビティに関する記事を募集いたします。

日頃の活動内容、地域社会への貢献や参加者の声など、貴クラブのアクティビティを具体的に紹介ください。写真も合わせてお送りいただけると幸いです。

皆様からの活動報告は、「アクティビティレポート」をより充実させ、地区内の情報共有や相互啓発に繋がる貴重な資料となります。ぜひ、貴クラブの活動を広く発信してください。

募集内容

- テーマ：各クラブのアクティビティ
- 内 容：活動報告、地域社会への貢献、参加者の声など
- 文字数：300字程度
- 写 真：1～2枚程度（高画質のもの）
- 応募先：キャビネット事務局へメールまたは郵送にて
- メール：332-c@lions-clubs.jp

皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。お送りいただいた写真、文章についてはホームページにも掲載させていただきます。
※肖像権の関係上、写っている方の確認がとれるものをお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会332-C地区 2025年-2026年度 地区運営方針



ガバナーズローガン

支え合おう

アクティビティスローガン

コミュニケーション溢れる332-C

332-C 地区に求められる行動目標

1. 会員増強に関する地区目標設定

- ・ミッション1.5を支援するため、私は地区ガバナー任期中に、地区チームと協力して 地域に定められた会員拡大ターゲット値の達成に取り組む。
- ・当地区に定められた会員拡大目標数値を達成する。
- ・私たちのチームでは、下記ターゲット値に加え、
 - ①チャーターメンバー各20名以上の新クラブをさらに1つ結成する。
 - ②地区内のクラブは、既存のクラブにさらに30名の新入会員を入会させる。
 - ③会員をさらに5名純増させる。

【ターゲット値：新クラブ1、新会員142名、会員純増25名】

2. 指導力育成に関する地区目標設定

- ・知識の豊かなサーバント・リーダーは、各地域社会で新会員を呼び込み、ライオンズとレオが充実した会員体験を得られるようにする。私は地区ガバナー任期の第1四半期に、地区チームと協力してクラブ役員研修とゾーン・チェアパーソン研修の推進に取り組む。
- ①私たちのチームは、ゾーン・チェアパーソンの100%がゾーン・チェアパーソン研修に参加するようにする。
- ②当地区は、クラブ役員（会長、幹事、会計）100%がクラブ役員研修に参加するようにする。
- ③私は、地区GLTコーディネーターがLearnの研修管理機能を使って、完了したゾーン・チェアパーソン研修とクラブ役員研修を確実に報告するよう働きかける。

【Learnの研修をZC、クラブ三役に任期前に受けて頂きたい。また、できれば、地区内メンバーにライオンポータルが学べる場を設けて頂きたい】

3. 奉仕事業に関する地区目標設定

- ・クラブの奉仕のインパクトへの認識を高めて会員候補を呼び込むため、私は地区ガバナー任期中に、地区チーム

と協力してライオンズクラブとレオクラブの奉仕報告率の向上に取り組む。

- ①私たちのチームは、地区報告サービスに参加するライオンズクラブとレオクラブの100%を確保する。
- ②私は、地区GSTコーディネーターが適時に奉仕を企画して報告することの重要性を訴えていくよう働きかける。

【奉仕活動報告はクラブが国際協会にライオンポータルから直接報告するように求められている。各クラブに報告方法を改めて周知する必要がある。】

4. LCIFに関する地区目標設定

- ・会員オリエンテーションでLCIF（ライオンズクラブ国際財団）への寄付のインパクトに関する知識を高めれば、個人的な貢献と寄付を増やすことができる。
- ・LCIFがその資金獲得目標を達成し、グローバルなインパクトをたかめることができるよう、私は地区ガバナー任期中に、地区チームと協力してLCIFへの支援に取り組む。
- ①私たちのチームは、地区内の個人寄付参加率を50%、地区内クラブの寄付参加率を50%高める。
- ②私は、ブロンズレベルのLCIF理事長メダル獲得を目指す。
- ③私は、LCIFに1000ドルの個人献金を行い、当地区キャビネットの20人のメンバーにLCIFへの個人寄付を行うよう求める。
- ④私は、地区内の資金獲得目標が確実に達成されるようにすることで、国際会長LCIF達成アワードの獲得を目指す

【会員一人100ドルのLCIF支援を目指している。寄付0のクラブをなくし、参加率100%を目指したい。地区の会員数×100ドルを基準（1,200人×100ドル）とする。キャビネット構成員、ZC以上のリーダー数がMJF個人寄付者になれるようにしたい。】

332-C 地区関連 3月度予定表

日程	行事
3/1 (日)	糖尿病セミナー
3/1 (日)	フードパントリー
3/5 (木)	GMT会員増強セミナー
3/24 (火)	第2回 第72回地区年次大会実行委員会

アクティビティレポートは
アクティビティ通信として
15日に発信致します。